

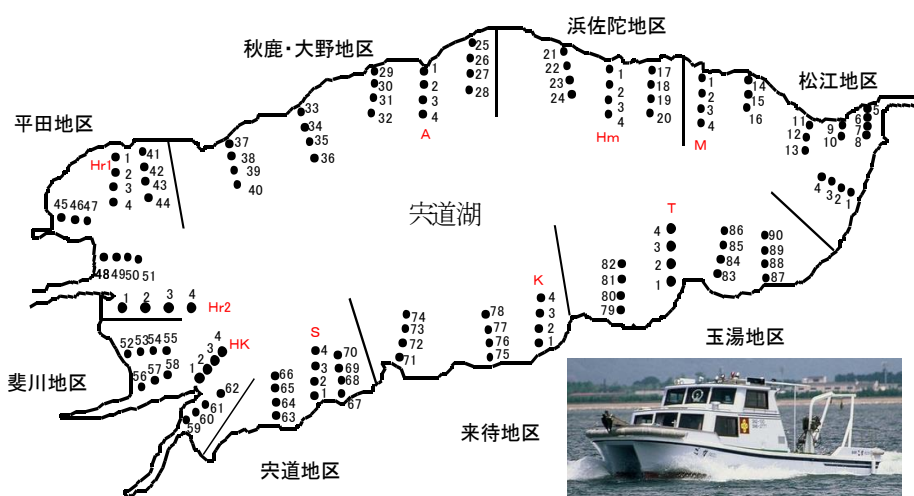


とびっくす No.100

(本誌はホームページでもご覧いただけます。http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/)

令和3年度春季ヤマトシジミ資源量調査結果 ～秋季から変化なし、成貝個体数、重量も昨年春季と同水準～

水産技術センター内水面浅海部では、毎年6月(春季)と10月(秋季)に宍道湖に生息するヤマトシジミ(殻長2mm以上)の資源量を推定するための調査を行っています。今年度の春季調査は6月8日・9日・10日に実施しましたので結果を報告します。



調査船「ごず」

図1 調査地点

調査方法

図1に示す調査定点(126ヶ所)において調査船「ごず」を使用し、スミス・マッキンタイヤ採泥器で各定点2回(面積0.1㎡)、湖底の砂泥と一緒にヤマトシジミを採集しました。採集した砂泥サンプルは、フルイでサイズ別に選別し、生息密度と水深別の漁場面積から宍道湖全体の資源量を算出しました。

調査結果および考察

令和3年春季のヤマトシジミの資源量(表1)は約3万8千4百トン、865億個が生息していると推定されました(令和2年秋季は約3万9千トン)。令和2年秋季の調査結果と比べると、約600トン減少していますが、その減少率は2%とほとんど変化なく、冬季の生残が良好であったことがうかがえます。また昨年春季(約3万4千トン)との比較では、ほぼ同水準となっていました(図2)。

内訳をみると、漁獲対象である殻長17mm以上は、約2万1千トン、91億個でした。これは、平成14年に詳細な資源量調査を開始して以降の、春季資源量の過去19年平均値(約1万6千トン)の131%、

表1 ヤマトシジミの資源量

サイズ		重量 (トン)	個体数 (億個)
未成貝	殻長12mm未満	7,318	664
成貝	殻長12mm以上17mm未満	10,170	110
	殻長17mm以上(漁獲対象)	20,922	91
	成貝合計	31,092	201
全資源量		38,410	865

昨年春季(約1万4千トン)の150%と良好な状態でした。殻長12~17mm未満の漁獲対象に達していない成貝は、約1万トンと、昨年春季(約1万4千トン)の約70%にとどまったものの、殻長12mm未満の未成貝は約7千3百トンと、昨年春季(約6千トン)の121%に増えていました。

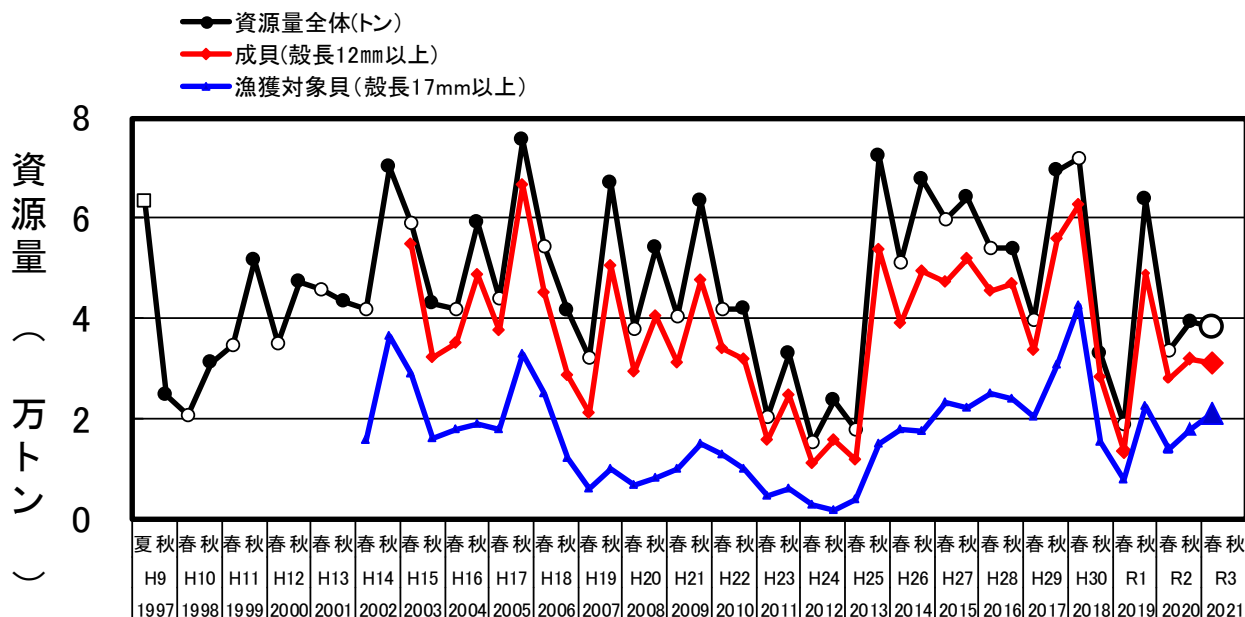


図2 宍道湖のヤマトシジミ資源量の推移

今後の見通し

今季の資源量は、昨年秋季からの減少がほとんどなく、また漁獲対象サイズは昨年春季よりも高水準であり(図3)、比較的安定した資源水準が維持されていると考えられます。

今後、シジミの成長に伴い、資源の増加が期待されますが、引き続き資源動向を注視するとともに、漁獲対象資源の計画的な利用や、未成貝資源の保護のため、保護区や浅場の水草除去など、生育場の管理に取り組むことが必要と考えられます。

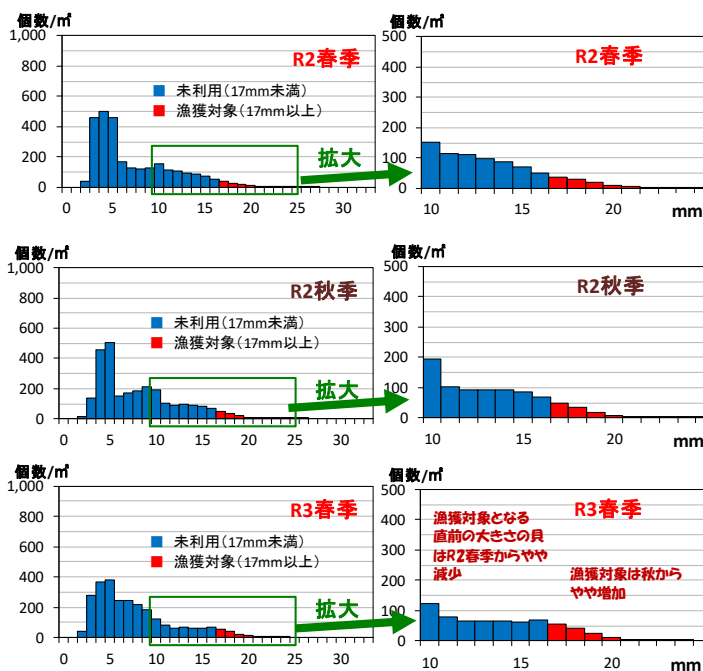


図3 宍道湖全体のヤマトシジミの殻長組成 (R2年春季~R3年春季、全調査地点の平均)

島根県水産技術センター

島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079

ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp